

## 目次

- 2 編集方針
- 3 報告書のプロフィール
- 4 住友化学グループとは

## 6 サステナビリティの実現に向けて (For a Sustainable Future)

- 7 社長メッセージ
- 13 住友化学の企業理念
- 16 住友化学グループの目指す姿
- 17 経営として取り組む重要課題
- 19 重要課題に対する主要取り組み指標「KPI」
- 28 中期経営計画とサステナビリティ
- 29 サステナビリティ推進体制
- 31 サステナビリティ推進の取り組み
- 40 イニシアティブへの参画
- 46 ステークホルダーとのコミュニケーション
- 49 住友化学グループのSDGsへの貢献
- 51 イノベーションの推進
  - 51 技術・研究開発
  - 54 知的財産

## 57 ガバナンス

- 58 コーポレート・ガバナンス
- 78 内部統制
- 80 リスクマネジメント
- 83 コンプライアンス
  - 86 内部通報制度(スピークアップ制度)
  - 91 腐敗防止
  - 94 税の透明性
  - 96 レスポンスブル・ケア
- 104 サイバーセキュリティ

## 106 環境

- 107 環境 目標実績一覧表
- 109 気候変動の緩和と適応
  - 110 TCFD提言に沿った開示
- 122 資源循環への貢献
  - 122 省資源・廃棄物削減
  - 124 プラスチック資源循環
- 129 自然資本の持続可能な利用
  - 131 生物多様性保全
  - 133 大気環境保全
  - 134 水の持続可能な利用
  - 137 土壌の持続可能な利用
  - 138 化学物質の適正管理
- 139 環境 データ編
  - 139 ① 気候変動の緩和と適応
  - 141 ② 資源循環への貢献、自然資本の持続可能な利用

## 162 社会

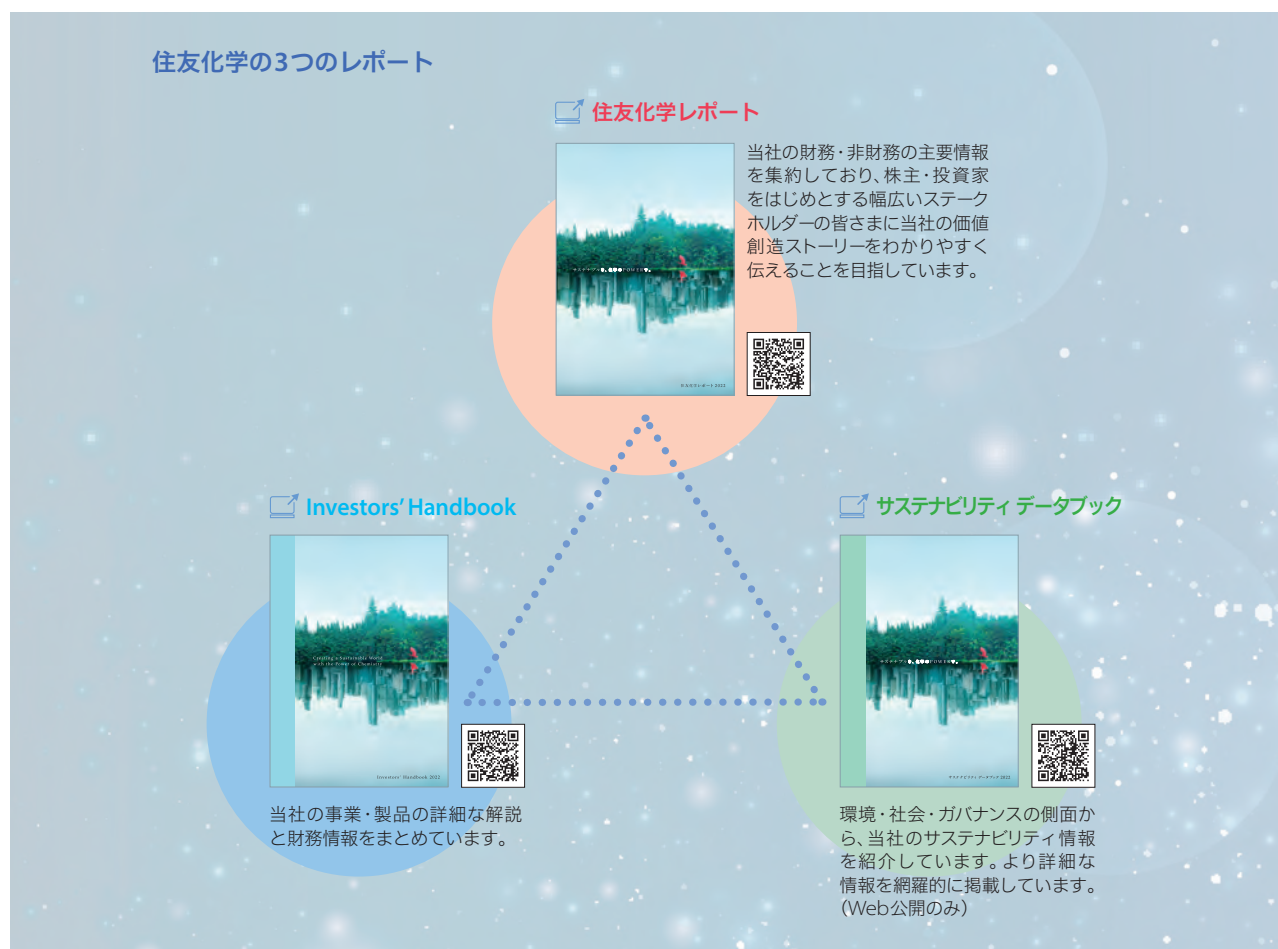
- 163 社会 目標実績一覧表
- 165 人権尊重
- 178 調達
- 184 人材マネジメント
  - 190 ワーク・ライフ・バランス推進
  - 194 ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン推進
  - 199 人材の育成・成長
  - 203 従業員の健康
- 206 労働安全衛生・保安防災
- 213 プロダクトスチュワードシップ・製品安全・品質保証
- 219 顧客責任
  - 224 医療へのアクセス
- 226 コミュニティ
- 238 社会 データ編
  - 238 ① 人材関連
  - 242 ② 労働安全衛生・保安防災
  - 247 ③ プロダクトスチュワードシップ・製品安全・品質保証

- 248 方針一覧
- 249 環境・社会データ算定基準
- 252 独立した第三者保証報告書
- 253 GRIスタンダード対照表
- 274 TCFD対照表

## 編集方針

「サステナビリティ データブック」は、統合報告書「住友化学レポート」を補完する報告ツールとして、ステークホルダーの皆さまと住友化学グループ双方にとって重要と考えられる項目を整理し、主に環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)の側面から当社グループのサステナビリティ情報を紹介しています。また、信頼性・透明性の担保として、定量的情報はKPMGあずさサステナビリティ株式会社による保証を受け、★マークを付しています(その他の開示情報については、データの回収方法、集計方法などP249～251「環境・社会データ算定基準」にて報告していますので、ご参照ください)。

当データブックがステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションツールとして、当社および当社グループ会社のご理解の一助となれば幸いです。



### ウェブサイトのご案内

#### 株主・投資家情報

- 決算短信
- 有価証券報告書
- 株主向け報告書
- IRイベント  
(プレゼンテーション・説明会資料)
- ファクトシート



#### サステナビリティ情報



### SNSのご案内

#### LinkedIn



## 報告書のプロフィール

### ● 報告対象組織

#### 住友化学株式会社およびその連結子会社

本文中の記述では、「住友化学」と「住友化学グループ」を以下の基準で書き分けています。

住友化学：住友化学株式会社

住友化学グループ：住友化学およびグループ会社

#### ▶ 環境データ(P107-161)

住友化学の生産工場および主要な連結子会社の生産工場(国内22社、海外31社)

「エネルギー消費量および温室効果ガス排出量」(P115)は、住友化学連結売上高99.8%以内の主要な連結グループ会社

#### 【住友化学】

住友化学：住友化学株式会社の全生産拠点

住友化学(全事業所)：住友化学株式会社の全生産拠点および非生産拠点

#### 【国内グループ会社】

共有化目標設定会社18社生産工場(住化加工紙株式会社、住化カラー株式会社、住化プラスチック株式会社、日本エイアンドエル株式会社、朝日化学工業株式会社、株式会社セラテック、住化アッセンブリーテクノ株式会社、サンテラ株式会社、住化アグロ製造株式会社、住化エンバイロメンタルサイエンス株式会社、住化農業資材株式会社、日本メジフィジックス株式会社、住友共同電力株式会社、株式会社サイオクス、エスエヌ化成株式会社、住化ポリカーボネート株式会社、株式会社サンリッツ、住化宏和テック株式会社)また、共有化目標データ(P157)以外の集計対象会社は、上記18社に情報開示会社4社生産工場(広栄化学株式会社、田岡化学工業株式会社、株式会社田中化学研究所、住友ファーマ株式会社)を加えた22社

#### 【海外グループ会社】

共有化目標設定会社30社(The Polyolefin Company (Singapore) Pte.Ltd., Sumitomo Chemical Asia Pte Ltd (MMA&S-SBR), Sumipex (Thailand) Co., Ltd., Bara Chemical Co., Ltd., Sumika Polymer Compounds (Thailand) Co., Ltd., Dalian Sumika Chemphy Chemical Co., Ltd., Sumika Electronic Materials (Wuxi) Co., Ltd., Sumika Electronic Materials (Hefei) Co., Ltd., Sumika Huabei Electronic Materials (Beijing) Co.,Ltd., Sumika Electronic Materials (Xi'an) Co., Ltd., Zhuhai Sumika Polymer Compounds Co., Ltd., Dalian Sumika Jingang Chemicals Co., Ltd., Sumika Electronic Materials (Changzhou) Co., Ltd., Xuyou Electronic Materials (Wuxi) Co., Ltd., Sumika Electronic Materials (Chongqing) Co., Ltd., Sumika Technology Co., Ltd., Sumipex Techsheet Co., Ltd., Sumika Polymer Compounds India Co., Ltd., Dongwoo Fine-Chem Co., Ltd., SSLM Co., Ltd., Sumitomo Chemical Advanced Technologies LLC, McLaughlin Gormley King Company, Valent BioSciences LLC, Sumika Polymer North America LLC, Botanical Resources Australia Manufacturing Services Pty Ltd., Botanical Resources Australia Agricultural Services Pty Ltd., Sumika Polymer Compounds UK Co., Ltd., Sumika Polymer Compounds Turkey Co., Ltd., Sumika Polymer Compounds France Co., Ltd., Sumika Electronic Materials Vietnam Co., Ltd.) また、共有化目標データ(P158)以外の集計対象会社は、上記30社に情報開示会社1社(Sumitomo Chemical India Private Limited)を加えた31社

(注) 詳細なデータ範囲は、各ページに掲載

新たに環境データの報告対象になった関係会社・工場については、住友化学グループとして調査を開始した年度の実績データから集計

### ● 報告対象期間：国内グループ会社：2021年4月1日～2022年3月31日(一部対象期間外の内容も含む)

海外グループ会社：2021年1月1日～2021年12月31日

### ● 発行時期： 2022年8月(前回発行 2021年8月、次回発行予定：2023年8月)

### ● 発行頻度： 毎年

### ● 参考にしたガイドラインなど： ● GRIスタンダード [▶ P253 GRIスタンダード対照表](#)

「サステナビリティ データブック」は「GRIスタンダード」の中核(Core)に準拠して作成している

● 環境省 環境報告ガイドライン(2018年)、環境会計ガイドライン(2005年)

● ISO26000

● TCFD提言 [▶ P274 TCFD対照表](#)